

生研 ニュース

PHOTO 岡宮誠一

1992.1.21
No.13

IIS TODAY

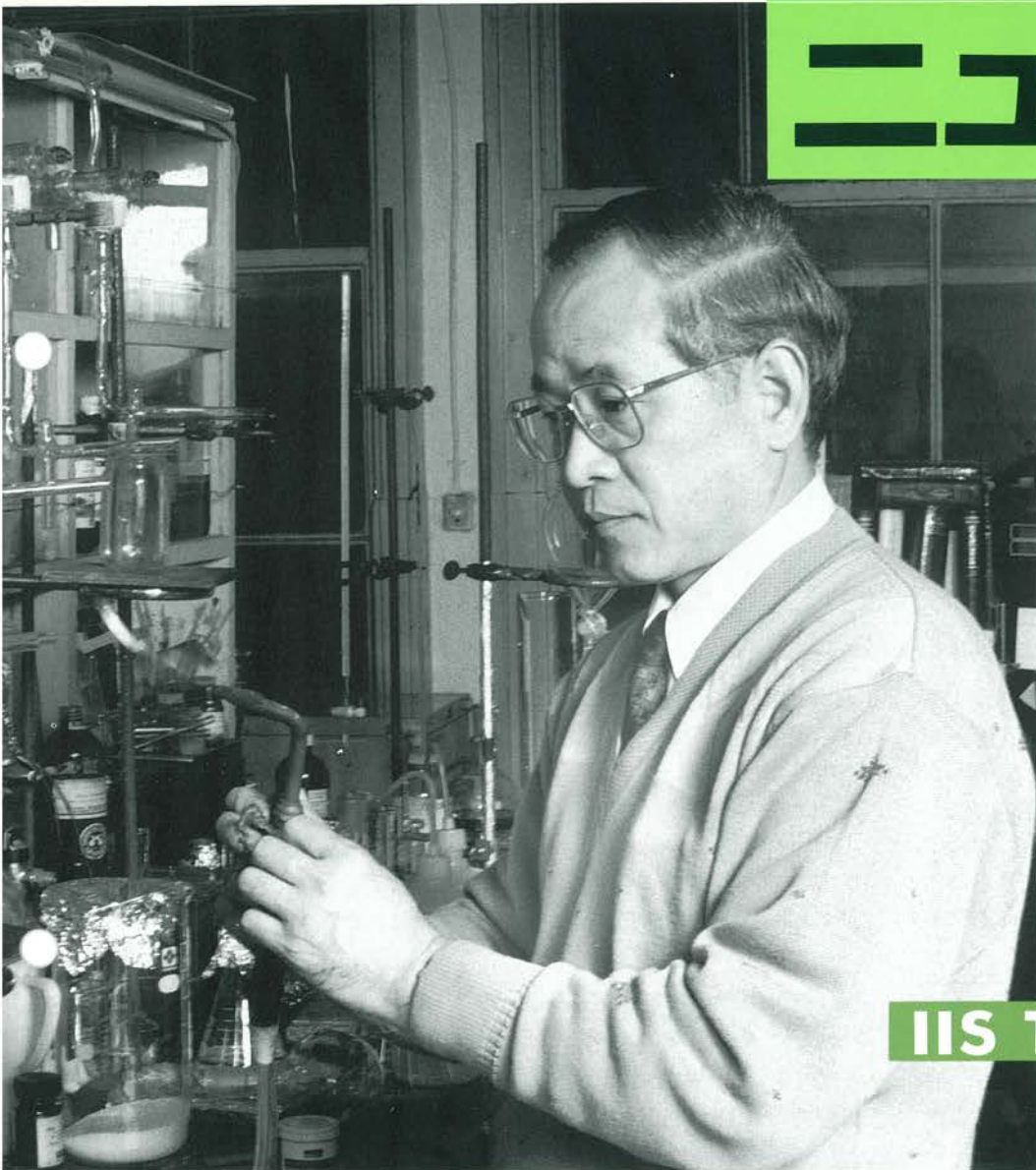
●第4部
瓜生敏之
教授

キャリアを含めると患者総数はおよそ百万人、燎原の火のように人類を脅かすエイズ（後天性免疫不全症候群）。タンパク質の殻をかぶったDNAという「生き物もどき」のウイルスが細胞にとりつく難病である。

機能性高分子がご専門で、生理活性をもつ多糖の合成を得意とする先生が、ウイルスのタンパク質と静電的に「接着」して働きをおさえる高分子（硫酸化多糖）の開発に手を染めたのは5年前。合成した分子の抗エイズウイルス特性試験は学外のウイルス学者、医薬としての生産は企業と、トロイカ体制で仕事を進めている。「化学だけ

にとらわれているかぎり、面白い仕事はなかなか生まれません。研究の着想・推進には異分野との交流が必須で、本所のような立地は最適です。」なにごともまず自分でやってみるのがモットー。とはいえなにしろ多忙の身、こうやって実験装置に向かえる時間はほとんどない。

九州男児にしては珍しく左党にあらず。趣味の筆頭はゴルフでハンディ14、所内では某部のM教授に次ぎ自他ともに許す(?)ナンバー2の腕前。90年度はTGC(本学工学部ゴルフクラブ)の大幹事を務めた。過去1年間、海外出張の余暇にやったゴルフは10回を越す。(W)



■第8回生研(事務系職員)同窓会開かれる。



2

昨年11月15日夕刻より山上会館で開かれた同窓会は、元所長の一色・鈴木・武藤各先生、前所長の増子先生を迎え、総数約80名が参加して盛大に行われた。本会は昭和52年当時の鈴木所長の発案により、事務系職員と所長経験者

との親睦会として発足して以来、隔年開催で足かけ15年の第8回を迎えた。今回はとくに昨年新装された安田講堂内部の見学会を設け、参加者にはたいへん好評だった。

会は鳥尾事務部長の司会により進行し、会長である岡田所長の開

会の辞、一色元所長の挨拶、鈴木元所長の乾杯で始まった。場内では各々が旧交を暖めるなど和やかに歓談がなされたあと、事務系職員を代表して滝沢元事務部長から次回の再会を約する挨拶があって、午後8時ごろ散会した。(R・K)

■和気あいあいの教官懇親会

12月18日夕刻から、恒例の年忘れ教官懇親会が東京青山会館で開

かれました。参加者数は、名誉教授10名を含む計約100名と盛会で



した。今回の世話役である第5部主任虫明教授の司会進行により、岡田所長の挨拶を皮切りに、奨励会理事長・鈴木弘名誉教授の来賓挨拶、山邊名誉教授の乾杯の音頭で幕を開けました。例年のごとく会場内には久々の旧交を暖めるグループあり、生研をめぐるこの1年間の情勢を論ずる者ありで、和やかな雰囲気うちに閉会となりました。(M・K)

■工学系研究科委員会の懇談会開かれる

12月12日、恒例により工学系研究科委員会と常務委員会が生研で開かれ、午後6時には席を健保会館に移して、本郷・麻布ほぼ半数ずつの総勢63名余が参加した懇談会が行われました。まず岡田所

長から、いま大学は戦後3度目の紛争時代にあるようだとの感想を含めた挨拶があり、大学院重点化構想の進捗状況を披露した菅野工学部長の挨拶、岡村評議員の発声による乾杯で始まった会は大いに

盛り上がり、あちこちに歓談の輪ができていました。こんな和やかな懇談会は初めて経験したという、本郷の事務方の声が印象的でした。次回も多数ご参加いただけるよう期待します。(第4部 林宏爾 記)

■平成3年度東京大学技術官研修について

平成2年度に続き標記研修が3年度も次の5コースについて試行されています。①電子顕微鏡(11/11~14, 20名)②低温技術(12/3~5, 15名)③超高真空(1/21~24, 10名)④コンピュータ(11/20~22,

30名)⑤機械工作(1/20~23, 15名)。本年度も関心が高く、④は担当者のご好意により定員を35名に増して実施されました。また①は、昨年度の経験を活かし生物系と材料系に分けて行われました。

申し込み期日に余裕が少ないのは反省材料です。③と⑤は本所の担当で、全学的に期待されています。2ヶ年の実績に基づき、本年度中に正式な研修要項が決定される予定です。(職員担当 木下 健 記)

3

写真で見る
生研今昔物語
(その5)

中庭

本所が近衛歩兵第3連隊の兵舎だった昭和18年頃の意外な一面を表す写真です。毎年12月19日、軍旗の拝受記念パレードのあと中庭で余興が催され、一般市民も参集したとのこと。ふだんの厳しい規律から解放される憩いのひとときだったことでしょう。今はテニスコートに変身していますが、研究活動の緊張を解きほぐす憩いの場として、往時と同じつとめを果たしているわけです。(N)



現在

VISITS

●客員研究員 (1991.12.1現在)

氏名	国籍・現職	部
Kirchner, Helmut	オーストリア・パリ大学南校 助教授	1
曹 瑾	中国・華東化工学院教授	4

●博士研究員 (1991.12.1現在)

氏名	国籍・現職	部
Dietrich, Jörg	ドイツ・ルール大学助手	5

●外国人研究者講演会

11月22日(金)

Prof. Philip Krider
Head of the Department of Atmospheric Sciences, Director of Institute of Atmospheric Physics The University of Arizona, U. S. A.
"Thunderstorm Research Using Gated, Wideband Magnetic Direction-Finders"



11月26日(火)

Dr. F. O. Philipp
Senior Researcher, Max-Planck Institut für Metallforschung, Germany
"Growth and Structure of SOI-Layers Produced by Liquid-phase Epitaxy"



11月26日(火)

Prof. L. M. Brown
FRS Cavendish Laboratory, Cambridge University, Great Britain
"Recent Problems Solved by Electron Energy Loss Spectroscopy in Scanning Electron Microscopy"



11月26日(火)

Prof. Hynek Biederman
Dept. Polymer Physics, Charles University, Czechoslovakia
"Plasma Polymerization Process, Recent Development and Future Prospects"



PERSONNEL

■人事異動 (平成3年11月1日～平成4年1月1日)

発令年月日	氏名	異動事項	新官職(所属)	前官職(所属)・現官職
3. 11. 1	横澤 一彦	採用	寄付研究部門客員助教授 インフォメーション・フュージョン(リコー)	
//	本多 嘉明	採用	// グローブ・エンジニアリング(トヨタ)	
3. 11. 16	樋口 俊郎	昇任	文部教官教授(工学部)	文部教官助教授(第2部)
//	岡 宏一	配置換	文部教官助手(工学部)	文部教官助手(第2部)
3. 12. 1	陳 以一	採用	// (第5部)	
3. 12. 26	富塚 誠義	採用	寄付研究部門客員教授 インテリジェント・メカトロニクス(東芝)	
4. 1. 1	石田 洋一	併任解除	文部教官教授(工学部)	文部教官教授(第4部)
//	山本 良一	配置換	文部教官教授(第4部)	文部教官教授(先端科学 技術研究センター教授)

● 新任のご挨拶

寄付研究部門
グローブ・エンジニアリング
(トヨタ)
客員助教授
本多嘉明



昨年11月1日付で寄付研究部門グローブ・エンジニアリング(トヨタ)の客員助教授に着任いたしました。昨年の3月に本所第5部の村井教授より「衛星データを利用した地球生物圏の生態気候区分およびその監視に関する研究」というテーマで学位を取得したばかりで、まだ右も左もわからない新米研究者であります。これからは人間活動が地球環境に及ぼす影響をリモートセンシング技術と地理情報システム(GIS)を組み合わせて評価する研究を押し進めていこうと計画しております。皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

寄付研究部門
インフォメーション・フュージョン
(リコー)
客員助教授
横澤一彦



11月1日付で寄付研究部門インフォメーション・フュージョン(リコー)の客員助教授に着任いたしました。これまで、NTT基礎研究所で視覚情報処理に関する基礎研究に従事しておりましたが、生研ではイメージインタフェースを専門分野とし、初期視覚系の並列処理メカニズムの分析やそのマンマシンインタフェース技術への適用を進めております。1年2か月という短期間の予定ではありますが、生研の恵まれた研究環境を生かして、人間とコンピュータのインタフェースに関する新しい枠組を開拓するような研究に取り組む所存です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

INFORMATION

■ 第4回生研学術講演会のご案内

○テーマ：工学の変容－(1)工学と感性－

○講演(敬称略)

- 原 廣司(生研)「視覚デザイナー－都市と建築の設計における判断」
- 佐々木 實(九州芸術工科大学)「環境デザイナー－音環境に対するアメニティー評価手法の考え方」
- 川崎通昭(高砂香料工業株式会社)「嗅覚デザイナー－匂いの生体への影響」
- 大河内基夫(麒麟ビール株式会社)「味覚デザイナー－ビールの商品開発」
- 橋本秀紀(生研)「ヒューマン・インターフェイス－制御システムにおける人間の関わり」

○日時：平成4年1月21日(火) 1:00～5:00pm

○会場：第1・2会議室

■ 外国人研究者・留学生との懇談会のお知らせ

恒例の外国人研究者・留学生、関係者との懇談会が3月11日に健保会館で行われます。

■ 停年退官教官記念講演会のお知らせ

3月23日、24日の両日、本年度退官される第1部本間禎一教授、第2部柴田碧教授、第3部濱崎襄二教授、山口楠雄教授の講演会が第1会議室で開催されます。

■ 生産研究特集号発行のお知らせ

2月号「乱流の数値シミュレーション(NST)その8」2月中旬発行予定

■ 生研セミナー

コース	テーマ	講師	期日
172	可変構造制御系の基礎と応用	助教授 橋本秀紀	1月31日(金)
173	界面の力学・強度評価法 －接着・接合材・複合材の強度・評価の基礎と応用－	助教授 結城良治	1月30日(木)

アメリカの大学を訪ねて

司計掛長 尾越和博

(財)生産技術研究奨励会より海外派遣助成金をいただき、昨年9月26日より10月3日までの8日間アメリカ合衆国のマサチューセッツ工科大学とスティーブンス工科大学を訪問してまいりました。訪問の主要目的はアメリカの大学における研究費ならびに運営費等の実状を勉強することでありましたが、両大学とも非常に親切に対応してくださり、大きな成果が得られたと自負しています。

両大学とも敷地内に建物等がバランスよく配置され、構内がとても美しい景観をなして教育・研究という面から施設整備に力を入れていると同時に、構内すべてが禁煙であるのにも驚きました。また両大学のあるボストン、ホーボーケン、マンハッタン、古い建物や公園を大事にし歴史を残すという姿勢が感じられ、たいへん好感がもてました。ことに、スティーブンス工科大学構内Castle Pointからのマンハッタンの眺めはとて素晴らしいものでした。



マサチューセッツ工科大学構内にて

今回の旅では、ひとつ怖い体験もしました。「当たり屋」のワイン版、「ワインおじさん」との遭遇です。まるで自分がアクション映画のワンシーンに出ているのかと錯覚するほどの恐ろしい体験でした。

終わりに、初めての海外出張を楽しく過ごさせてくださった浦・横井両先生に心からお礼を申し上げます。

タナカとアライ?

総務課 春口道憲



ノタヤから南に15キロ、バンヌツ・ビレッジ庭園にて

昨年11月13～19日の1週間、タイに行ってきました。某コンタクトレンズ会社の懸賞に当たったのです。すっかり忘れていたため通知を受け取ってびっくり仰天。総勢125名の団体旅行でした。

バンコクのホテル着は深夜2時で、翌朝早くから市内観光。午後の目的地パタヤビーチでは、新宿を

思わせる街ナン・ヌアルで買物をしたとき、財布のひもをなかなかゆるめない私に向かって店員が「あなた田中さんですか?」と不思議なことを言います。聞けばタイ語でタナカは「銀行」、なるほどと納得。ついでにアライは「何ですか?」、そしてなんとチンチンは「ほんとう?」の意味だそうです。

2日目のコーラン島ではまず射撃。本物の銃にさわったのは初めてです。それから海岸に出てスカイパラシューティング、水上スキー、ジェットスキーにトライ。じつにきれいな海でした。

後半はバンコク市内で過ごしました。渋谷に似たサイアム・スクエアに昼食に行き、それまでの日本人向け料理にも飽きたのでタイ料理に挑戦。これがとてつもなく辛い。サラダを頼めば真っ赤な唐辛子ドレッシング、ではと辛いサラダを頼んだら蜂蜜ドレッシング。ぶっ飛びの連続でした。ともかく、初めての海外旅行を満喫して帰国。某社には心よりコップクンカップ(ありがとう)を申し上げます。

編集後記

本年第1号も、師走のあわただしい中をぬって編集作業が終わりました。師走という10大ニュースは何だったかなと、思い起こしたくなります。中東、ソ連、カンボ

ジア情勢、そしてECなど世界的に目まぐるしい変化が続いた昨年でしたが、生研では何が起こったのでしょうか? そんな時、「生研ニュースを見てみよう」と言ってもらえるように、本年も愛される紙面をつくりたいと思います。

(M・K)